



# 高木石材新聞

10月に入り、秋も深まってまいりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

この度、犬山市羽黒にある興禅寺参道の石張り工事が完成いたしました。東山門から本堂に続く道、そして正面山門前の道が、コンクリートから石の参道に生まれ変わりました。



興禅寺は鎌倉時代の源頼朝の重臣、梶原景時が

建てたお寺です。また大河ドラマの主人公になった山内一豊の母、法秀尼の出生の地と伝えられております。秋になるとお寺の木々が素晴らしい紅葉をみせてくれ、また重厚感漂う本堂、庫裏は圧巻です。

ぜひ興禅寺に訪れていただき、綺麗になった石の参道を歩きながら、歴史の深さを堪能いただければと思います。

## 知っていますか 10月の記念日

●10月14日は「鉄道の日」です。

1872年のこの日、新橋～横浜間の29キロに、日本初の鉄道が開業しました。開通により、徒歩で1日かかったこの区間を、53分で移動できるようになりました。当時は、機関車モーターモイギリス製で、第1号機関車は、「やえもん」の愛称で親しまれ、絵本のモデルにもなりました。現在は、埼玉県の鉄道博物館に展示されています。



■発行者：高木石材店

鈴木 一成（すずき かずなり）

昭和47年10月 愛知県生まれ  
妻、娘(中2)、息子(小4)、娘(小3)の5人家族。子供達はとっても仲良しです！  
所属：犬山ロータリークラブ、犬山JCOB  
2013年犬山西小学校PTA会長

※若い時から、登山と写真にはまっていました。自然が大好きです！ここ6～7年くらい山から遠ざかっていますが、機会を見つけて、北アルプス穂高岳に登ってみたいと思います！



高木石材店

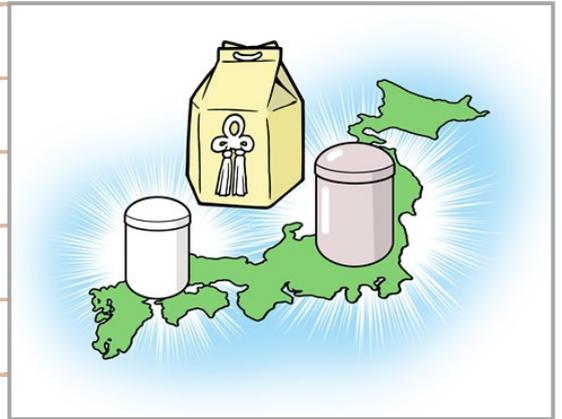
TEL: 0120-967-614

愛知県犬山市大字上野字郷1486

# ～お墓のミニ知識～

★お骨壺の大きさは東と西で違うんです！

遺骨を入れるお骨壺の大きさは、関東と関西など、地域によって違うことをご存知でしたか？主に関東では、火葬した後に、遺骨を全部骨壺に収骨します。そのため、骨壺の大きさは、成人の方で7寸(直径約21センチ)のお骨壺に遺骨を納めます。一方、関西では、喉仏を中心に、体



の主要な部分の遺骨のみを納めるため、3～5寸(直径約9～15センチ)の小さなものが使われることが多いです。骨壺に入りきらなかった遺骨は、火葬場に供養してもらうのが一般的です。なお、骨壺の大きさの違いから、骨壺を納めるお墓の納骨室(カロート)も、関東の方が関西より大きく造られる傾向があります。

## 仏事クイズ Q&A

普段何気なくやっていることが正しいかどうか、クイズで確かめてみましょう。

**Q** 僧侶が唱えるお経は何語で書かれているでしょう？

- ① 昔のヒンズー語
- ② 昔の中国語
- ③ 昔の韓国語

**ヒント**

お経は、インドから中国に伝わり、中国語に訳されたものが日本に伝わりました。

## ちよっとひといき まちがいさがし



上下の絵に間違いが3個あります。探してみましょう

※クイズとまちがいさがしの正解は、表面の一番下の部分をご覧ください。

ご縁を大切にしたいとの想いで、毎月発行しています。